広報
中部の森林（もり）

国民の森林・国有林
中部森林管理局
〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513
http://rinya.maff.go.jp/chubu/

平成二十一年度　治山・林道工事コンクール

中日造林賞

治山・林道工事コンクールを始め各種表彰式等を開催

（P2～3に関連記事）

主な項目

○ 各種表彰式等を開催 …… P2～4
○ 現場最前線木曽署瀬戸川・氷ヶ瀬班 …… P5
○ 風景紀行「戸隠高原」 …… P6

各種表彰式等を開催

平成二十一年度 治山・林道工事コンクールの表彰式

［森林整備課・治山課］平成二十一年度治山・林道工事コンクール表彰式を、二月二十四日に中部森林管理局において実施しました。

このコンクールは、治山工事及び林道工事の適正化並びに施工技術の向上、意欲の高揚を図り、併せて設計技術の向上に資することを目的に治山部門は昭和四十二年度、林道部門は昭和四十四年度から実施しています。

本年度に中部森林管理局管内で施工した、治山工事一四八件、林道等工事十六件の工事を対象に施工管理全般及び安全管理について審査を行い、治山部門で十四件、林道部門で六件を優良工事として選出し、この中から、最優秀工事として治山部門・林道部門のそれぞれ二件を林野庁表彰に推薦し、治山工事二件と林道工事二件について農林水産大臣賞並びに林野庁長官賞を受賞しました。

また、優良工事として選出したその他の工事、治山部門の十二件、林道部門の四件と、新たに農林水産大臣賞、林野庁長官賞を受賞した工事の現場代理人、主任技術者並びに監督職員が中部森林管理局長賞を受賞しました。

二十四日の表彰式は、中部局管内の長野県内で施工した治山及び林道工事の受賞者に対し行われ、桂川森林整備部長が、審査報告した後、城土局長から表彰状を授与しました。

また、富山県、岐阜県、愛知県内で工事施工した受賞者に対する表彰伝達式は、三月一日に名古屋市内で行われ、竹林次長（名古屋事務所長）からそれぞれ表彰状を授与しました。

なお、農林水産大臣賞及び林野庁長官賞の授与式は、局長表彰に先立ち、二月九日東京において行われました。

各賞の受賞者は次のとおり

◎農林水産大臣賞

〔治山工事部門〕

株式会社佐々木工務店（中津川市）

◇上矢作（フジ小屋2）奥地保安林保全緊急対策工事　〈東濃署〉

◎林野庁長官賞

〔治山工事部門〕

木曽土建工業株式会社（木祖村）

◇尾骨沢復旧治山工事　〈木曽署〉

〔林道工事部門〕

奥田工業株式会社（大桑村）

◇小川殿（川戸沢下）林道新設工事ほか一工事　〈南木曽支署〉

株式会社水口土建（高山市）

◇鈍引沢林道新設工事　〈飛騨署〉

◎中部森林管理局長賞

〔治山工事部門〕

株式会社北條組（長野市）

◇硫黄沢復旧治山工事　〈北信署〉

株式会社後藤組（糸魚川市）

◇杉ノ平地すべり防止工事　〈中信署〉

株式会社水野組（伊那市）

◇東谷二復旧治山工事　〈南信署〉

大宗土建株式会社（南木曽町）

◇大迷沢奥地保安林保全緊急対策工事　〈南木曽支署〉

株式会社三六組（飯田市）

◇平成二〇年度ザ沢向復旧治山工事　〈伊那谷総治〉

大協建設株式会社（大鹿村）

◇平成二〇年度中洞地すべり防止工事　〈伊那谷総治〉

伊藤工業株式会社（魚津市）

◇北又谷復旧治山工事　〈富山署〉

新栄建設株式会社（立山町）

◇スゴ谷下流復旧治山工事　〈富山署〉

大山土木株式会社（高山市）

◇千間樽（紋十郎谷）奥地保安林保全緊急対策工事　〈飛騨署〉

金子工業株式会社（下呂市）

◇椹谷（白谷）復旧治山工事　〈岐阜署〉

岩佐土木株式会社（下呂市）

◇鹿山（下呂俣谷支流）復旧治山工事　〈岐阜署〉

株式会社梅田組（下呂市）

◇鹿山（下呂俣谷小谷）復旧治山工事　〈岐阜署〉

〔林道工事部門〕

株式会社北原組（小海町）

◇大沼（内山）併用林道災害復旧工事　〈東信署〉

木曽土建工業株式会社（木祖村）

◇塩沢藪原林道改良工事　〈木曽署〉

株式会社青木組（下呂市）

◇鈍引沢作業道新設工事　〈飛騨署〉

株式会社所組（恵那市）

◇大ツゲ谷（治山資材運搬路新設）復旧治山工事　〈岐阜署〉

〔現場代理人、主任技術者及び監督職員　部門〕

奥田工業株式会社

主任技術者　西裏　進

木曽森林管理署　南木曽支署

監督職員　尾近　茂

◇小川殿（川戸沢下）林道新設工事ほか一工事

木曽土建工業株式会社

主任技術者　巾崎　哲也

木曽森林管理署

監督職員　小嶋　友和

◇尾骨沢復旧治山工事

株式会社水口土建

主任技術者　和賀登和彦

飛騨森林管理署

監督職員　井上　智之

◇鈍引沢林道新設工事

株式会社佐々木工務店

現場代理人　五嶋　祐二

主任技術者　西村　幸弘

東濃森林管理署

監督職員　可兒　孝志

◇上矢作（フジ小屋二）奥地保安林保全緊急対策工事

最後となる中日造林賞贈呈式
―中日新聞社に局長感謝状贈呈―

【名古屋】 中部九県の優良造林地などを表彰する第五十五回中日造林賞の贈呈式が二月二十五日、中日新聞本社で行われました。

これは、中日新聞社と中部日本治山治水連盟が主催で、中部地方の林業発展に尽力されている個人・団体の優良造林地・功労者を表彰し、その業績を一般に紹介することによって、広く造林に対する関心を高めるもので、林野庁・中部森林管理局、中部九県（愛知、岐阜、三重、静岡、長野、滋賀、福井、石川、富山）が後援しています。

贈呈式では、主催者の大島中日新聞社社長から「受賞者の皆さんは各地域の模範となる活躍と功績を重ねられ、改めて敬意を表したい」と挨拶されるとともに「昭和三十一年から顕彰してきたが、近年、森林・林業の意義が環境や後継者などの課題がある中で行政に主体が移っており、中日造林賞は一定の役割を果たしてきた。名古屋営林局時代から中部森林管理局には、ご協力をいただきお礼申し上げたい。今後は、林業振興などを紙面作りの面から協力したい」と、中日造林賞を今回で終了することも告げられました。

この後、竹林審査委員長（名古屋事務所長）の審査結果報告があり、城土森林管理局長から林野庁長官賞を、大島中日新聞社社長から中日賞、奨励賞をそれぞれ受賞者に贈呈しました。

城土局長は「受賞者の皆さんには、日頃からの森林づくりを積極的に取り組まれた成果のたまものであり敬意を表すとともに皆さんの取組を地域でも普及してもらいたい」また、中日新聞社に対しては「半世紀にわたった取組に敬意を表したい。自分の生まれた年から始められ同じ年月を歩んだ活動が終わることに寂しい感じもする。中部日本地域に声を伝える力で、森林・林業を新しい視点でご支援を願いたい」と挨拶しました。

続いて、受賞者を代表して、優良造林地の部門で林野庁長官賞に輝いた、岐阜県の和田光雄さんから「五十年前に、父親も同じ賞を受賞し、自分ももらえるように頑張った。賞を誇りにこれからも環境などに優しい森林づくりを進めたい」と挨拶がありました。

なお、造林賞贈呈式後、城土局長より中日新聞社に、中日造林賞を通じて地域社会における森林づくりと地域振興に大きく貢献したことに対して、感謝状を贈呈しました。

受賞者は二部門で次の方々です。（敬称略）

【優良造林地の部】

▽林野庁長官賞＝和田光雄（岐阜県郡上市）

▽中日賞＝青木力（富山県南砺市）、野口佳正（滋賀県甲賀市）

▽奨励賞＝畑田清治（福井県小浜市）、濱田耕輝（三重県紀北町）

【造林功労者の部】

▽林野庁長官賞＝大桑透（静岡県浜松市）

▽中日賞＝坂本明（石川県穴水町）

▽奨励賞＝加藤清（愛知県豊田市）、横山喜八郎（長野県上田市）

表彰状を受け取る受賞者

国有林間伐推進コンクール

【販売課】 間伐の優良事例の普及に努めるため、平成二十一年度も林野庁で国有林間伐推進コンクールの募集が行われました。

当局からは、例年一事例の応募であったところですが、各署等の低コスト作業システムの取組が進んできていることもあり、今年度八事例の応募がありました。

また、今年度からは、林野庁に推薦する優良事例について局長賞を授与することとし、選考委員会の審査により三事例を選定し、林野庁へ推薦したところ、日和田林産㈲がみごと優秀賞を受賞され、その賞状の授与は、二月十六日飛騨森林管理署で行われました。

森林整備として間伐を進めていく中で、森林・林業再生プランの趣旨に即してできる限り搬出して利用することが求められており、低コスト作業システムの更なる普及・定着を図っていくため、平成二十二年度に向けてより多くの応募を期待しています。

林野庁長官　優秀賞

日和田林産有限会社　（高山市）

中部森林管理局長賞

日和田林産有限会社　（高山市）

北信州森林組合　（飯山市）

有限会社高遠興産　（伊那市）

原飛騨署長より
日和田林産有限会社へ賞状の伝達